

# すなお

令和6年7月号

発行所 天理教瀬戸路分教会

〒794-0007 今治市近見町4-5-10

URL <https://www.tenrikyo-setoji.net/>

☎ 0898-23-5004 責任者 二宮 英治

発行日 2024.7.16 通巻 No.768



会 長

本日（7月13日）前田強さんの20年祭を教会において勤めさせていただきました。

前田さんとは、布教地の宇和島から引き上げて今治市内で用事をしている最中、神様の思惑があって出会い、道端でおさづけの取り次ぎをさせていただき、それから病院へお助けの日々となりました。そして、私と共に本部修養科に入学され、3ヶ月をおちばで過ごしましたが、その後の私自身の信仰生活の基本になることを種々学ばせていただきました。

その一つが修養科にておさづけ拝戴が近づいて来たある日の「おさづけ要らない」発言です。「別席の話は良い内容だけどおさづけは要らない」と言うのです。いろいろ聞けば「自分は身体も不自由だしおさづけをもらっても使うことがない」というのが理由でした。そのやり取りの中で（あ！おさづけが要らないということは人を助ける心がない。ということを宣言していることなのだ）と気づきました。

最終的に心を切り替えておさづけの拝戴をして下さいましたが、用木になる！ということは人を助ける心で生きるということを決断するということなのだと言ったことから教えていただきました。

私達お互いは、ほとんどの方がおさづけを拝戴して用木とならせていただいています。形としておさづけを取り次ぐことはもちろん大切なことですが、その前に人助ける心で通る日々であることがもっと大切なことです。

『人助けたらわが身助かる』と教祖より教えていただいています。現実的に人を助けることの前に、人のことを一番に考えることが出来るようになると自分の心が助かるということです。先人の心を見習って人助ける日々を通らせていただきましょう。



## 竹

二宮 慎吾

先日お庭工事で竹の伐採がありました。竹と言えはまず思い浮かぶのはタケノコです。春先のとれたてのタケノコは煮ても炊いても美味しく、新鮮なものであれば生でお刺身にもできます。お庭の仕事においても竹というものは大変重宝する材料の一つです。今現在科学も発達してきましたが、竹に変わる素材は見つからないと言われています。

京都のお庭を散策すると至る所に竹細工を見かけることができます。境界の竹垣、水の出口である笥、雨どい、井戸の蓋など、また竹箒や熊手、トンカチの柄(もち手)などの道具にもかかせません。（次ページへ）

竹は非常に扱いやすく、割りばしサイズまで割（さ）くこともできれば、画用紙ぐらいの厚みまで剥く（むく・へぐ）こともできます。

さらにノコギリでも容易く切れ、加工しやすく、成長も早いので安価で手に入る、そして強度もありつつしなやかさもある。極めつけに食べられる。これが竹に変わる素材がないと言われる所以であります。

しかしながらそんな万能といわれる竹にも人にとって短所があります。成長が早いのが故にひとたび手入れを怠るとたちまちにして、荒れて放置林となってしまうのです。竹の伸びるスピードは早いもので一日に1m以上伸びていく品種もあり、2、3年手を付けずにおいておくと身体が入って行けないくらい密集して、根っこがお隣さんの境界を突き破っていくことなどザラにあります。上の方でノコギリで切るのは簡単ですが、根っこから引き抜くとなると話は別で1t以上の力で引っ張っても抜けません。仮に抜けても芽が少しでも残っているとそこから再生して筍が出てきます。恐ろしいですね、、、とはいえ、それは竹の生まれ持つ性質、性分みたいなもので、そういう事態に発展しないように、上手に付き合って管理していくことが大切です。

庭工事で竹を扱うようになって、人付き合いでも似てるところがあるなと思うようになりました。何においても変えられる部分と変わらない部分があって、私はつつい変えられない部分を指摘したり気にしてしまったりしがちなのですが、まずは良いところをしっかりと見て、評価してみて。自分にとって苦手な部分は目をつむってしまったり、指摘するようになると却ってしんどくなるので、自分なりに上手に付き合っていけるように努力する。そういう心遣いが大切なのではないかなと思うようになりました。

そしてまた自分自身は、竹のように、いろんな場面で扱いやすい人間になっていきたいものです。

## 《教会ニュース》

### こどもおぢばがえり開催

本年は今月27日から来月4日までこどもおぢばがえりが開催されます。瀬戸路からは27日、28日の日程で帰参予定です。9日間のいつでも良いのでこどもと共におぢばへお帰り下さい。暑い夏になりそうですが、だからこその意味もあります。

### 前田強さん20年祭

今月、13日教会の祖霊殿において故前田強さんの20年祭が会長を祭主につとめられました。参列された家族の皆さんと共に故人を偲び、故人が残してくれた真実の道を引き続き通らせていただくことを誓いました。

（関連記事 会長挨拶）

### 教会長交流巡教報告

先月、18日に会長は教会長交流巡教の御用で天堂分教会に行かせていただきました。